

L5

## 電子製品の取扱説明書

～「100点満点」の訳文をめざそう～

以下の英文はある電子製品の取扱説明書の冒頭部分です。文体は「です・ます」調としてください。

### 演習課題

## Important Safety Notice

It is important that this product is operated according to the correct procedures. Improper system handling may cause unexpected accidents such as electric shock and burns, resulting in personal injury or material loss and damage. However, such accidents can be prevented if the user understands the various dangers and takes the proper precautions.

This manual explains a number of possible dangers associated with this product, and cautions about which the user should know. Each item of safety information is accompanied by one of the following visual symbols, indicating a different type and level of danger.

### Danger

Danger indicates that a failure to observe the specified instructions may precipitate imminent danger leading to serious or fatal injury. Be sure to observe these instructions so that safe operation will be ensured.

### Warning

Warning indicates that a failure to observe the specified instructions may result in serious or fatal injury. Be sure to observe these warnings.

### Caution

Caution indicates that a failure to observe the specified instructions may result in minor injuries or material loss and equipment damage. Be sure to observe all the caution statements.

### Note

Note indicates important information pertaining to operation, including actions that are prohibited. Be sure to read and observe these notes in order to prevent mechanical failure and damage.

## 原文の背景

ある電子製品の取扱説明書からの抜粋です。当該製品を購入したユーザが製品を安全に利用するために守らなければならない注意事項を述べた文です。対象となる製品は精密電子機器の一種です。4種類の「見出し記号」は【 】で囲んで、【危険】、【警告】、【注意】、【注記】とし、本文中も同じ表記にしてください。

### 用語

procedure	: 「手順」	precautions	: 「予防策」
handling	: 「取り扱い」	serious or fatal injury	
electric shock and burns			: 「大ケガや死亡」
	: 「感電や火傷」	minor injuries	: 「軽いケガ」
personal injury	: 「人身傷害」	equipment damage	: 「装置の損傷」
material loss and damage		mechanical failure	: 「装置の故障」
	: 「物的損害」		

### ヒント・着眼点

今回の英文の難易度はそれほど高いものではありません。訳出上のポイントも主に訳語レベルです。今回のようにあまり難易度の高くない英文の場合、Lesson 4と同様に「訳文の完成度」という視点を意識することが大切です。

例えば、今回の課題がプロ翻訳者の登竜門であるトリアル課題だとすると、80点や90点では合格ラインに達しません。やはり最低95点、できれば「100点満点」を目指していただきたいと思います。英文が平易で易しければ易しいほど、それだけプロとして完成度の高い訳文が求められることを覚えておいてください。

上級レベルの訳文に共通の傾向としては、原文の内容を正確に読み取るだけでなく、定型表現や専門用語をきちんと調べたうえで、読者（＝製品のユーザ）に情報が正しく伝わるように日本語表現を上手に工夫していることです。

特に、逐語訳では原文に引きずられて翻訳調になるような箇所は、思い切ってこなれた日本語訳に工夫する必要があります。そうした箇所を的確に見抜き、いわゆる「腕の見せ所」をしっかりとアピールするのもトリアルの合格ポイントの1つといえます。

なお、本 Lesson では、上記の【用語】は顧客から指定された用語ですので必ず準拠してください。

## よくある訳文

### 安全上の注意事項

本製品は、正しい手順で取り扱うことが大切です。システムの取り扱いが不適切であると、感電や火傷などの予期しない事故となり、人身傷害や物的損失および物的損傷につながる恐れがあります。しかしながら、そのような事故の多くは、ユーザが各種の危険性について理解し、適切な予防策を講じれば避けることができます。

本書には、本製品に関連するさまざまな危険性や、ユーザが知っておくべき注意事項が記載されています。安全情報のそれぞれの項目は、下記のような4種類の視覚的記号を伴い、それぞれ危険の種類と程度を示しています。

#### ☠【危険】

【危険】は、指定された指示に従わないと、ただちに大ケガや死亡に至る危険な状況を招く可能性があることを示します。安全に操作するために、これらの指示を守ってください。

#### ☠【警告】

【警告】は、指定された指示に従わないと、大ケガや死亡に至る可能性があることを示します。これらの警告を守ってください。

#### ☠【注意】

【注意】は、指定された指示に従わないと、軽いケガ、物的損害、装置の損傷につながる可能性があることを示します。これらの注意事項を守ってください。

#### ☠【注記】

【注記】は、禁止された行為など、操作に伴う重要情報を示します。装置の故障や損傷を防ぐために、これらの注記を読んで守ってください。

訳出上のポイントは2つあります。1つは **Important** をきちんと訳すことです。【よくある訳文】では **Important** を訳していませんが、この情報は割愛できません。**Important** を訳さないと、訳もれ扱いとなります。ただし、末尾に「(重要)」のような形で併記するのはOKです。

もう1つのポイントは、**Notice** の訳を「注意」(×)や「注記」(×)としないことです。これは見出しとして本文で登場する **Warning** や **Note** の指定用語と区別するための措置です。【よくある訳文】の「注意事項」(△)は「事項」という言葉を補っているのだからうじて「注意」と区別できますが、できれば別の訳語を工夫したいところです。

以下の改良訳文を見てください。

#### ▶よくある訳文：

安全上の注意事項

#### ▶改良訳文：

安全上の大切なお知らせ

【改良訳文】では、**Notice** の訳語として「お知らせ」(○)を採用していますが、これが唯一の正解ではありません。「留意点」(○)なども使えるでしょう。

### 【第1パラグラフ】—第2文—

② **Improper system handling may cause unexpected accidents such as electric shock and burns, resulting in personal injury or material loss and damage.**

ここでは、以下のような三者間の因果関係をきちんと理解して訳す必要があります。

- (1) システムの取り扱いが不適切である。
- (2) 感電や火傷などの予期しない事故の原因となる。
- (3) 結果として人身傷害、物的損害につながる恐れがある。

ここでは、(1)が(2)の原因となり、さらに(2)が(3)の原因となることを読者に分かりやすく伝える工夫が必要です。そのため、「～の原因となる」(○)、「結果として」(○)といった表現を利用して、因果関係が明確に読者に伝わるようにします。

また、指定された用語にきちんと従うことも大切です。**electric shock** は「感電」(○)、**burns** は「火傷」(○)という意味です。前者を「電気ショック」(×)と訳すこともありますが、【ヒント・着眼点】にあるようにいずれも顧客からの指定用語になっていますので必ず従ってください。

## ◆ 訳出上のポイント ◆

これまでの Lesson 同様、【よくある訳文】の下線部分と網かけ部分をどのように改善すればよいか検討していきましょう。

以下、訳出上のポイントを解説します。

### 【タイトル】

#### ① **Important Safety Notice**

personal injury は「人身傷害、人身被害」が定訳です。ただし、ここでは顧客の指定用語である「人身傷害」(○) のほうを採用します。

material loss and damage は直訳では「物的損失および物的損傷」(△) のような訳となりますが、ここも指定用語があります。正しくは material loss and damage をまとめて「物的損害」(○) と訳すように指定されています。これは、physical loss or damage と同義です。

ちなみに、physical loss だけでも「物的損害」という意味があります。ただし、こちらは、「身体的喪失 (=手や足や体の一部を事故などで失うこと)」というニュアンスを含んでいる点で material loss とは異なります。

以下の改良訳文を見てください。

▶よくある訳文：

システムの取り扱いが不適切であると、感電や火傷などの予期しない事故となり、人身傷害や物的損失および物的損傷につながる恐れがあります。

▶改良訳文：

システムの取り扱いが不適切であると、感電や火傷などの予期しない事故の原因となり、結果として人身傷害や物的損害につながる恐れがあります。

【第2パラグラフ】—第2文—

③ **Each item of safety information is accompanied by one of the following visual symbols, indicating a different type and level of danger.**

ここはいわゆる翻訳者の「腕の見せ所」です。原文に引きずられた直訳調の読みにくい日本語表現を避け、上手な日本語表現を工夫したいところです。

まず、Each item of safety information の部分は、【よくある訳文】のように「安全情報のそれぞれの項目」(△) とするとやや読みにくい日本語となりますので「安全に関する各項目」(○) のように簡潔な表現を工夫するとよいでしょう。

ここでは、information を「情報」と訳さないのがポイントです。以下の例文を見てください。

**For more information on each item, see the reference manual.**

(各項目について詳しくは、リファレンスマニュアルを参照してください)

ここで For more information on ~ を「~の追加情報については」(○) と訳して

も間違いではないのですが、「~について詳しくは」(◎) としています。上記のように information を「情報」と訳さないのが一般的です。Each item of safety information の information も同様に処理できる点に注目してください。

また、is accompanied by ~ は「~を伴う」(△) が直訳ですが、ここは以降の本文の内容を見て判断する必要があります。単なる直訳では前後関係が意味不明になるおそれがあるからです。

one of the following visual symbols の部分は、具体的には「⚠ Danger」や「⚡ Warning」などの4種類の「見出し記号」のいずれか1つを指しています。visual symbols は「目に見える記号/シンボル」「視覚的記号」(×) ということなので原文にある絵記号をさしていますが、訳語としては、【原文の背景】に「見出し記号」(○) と書かれていますので、これが visual symbols の訳語となります。ここでは単に「見出し」(○) としてもよいでしょう。

【原文の背景】は課題についてのヒントであるとともに、実際の仕事では顧客からの「指示」に相当します。【原文の背景】をきちんと読んで訳文に反映することが翻訳力のレベルアップにつながります。

以下の改良訳文を見てください。

▶よくある訳文：

安全情報のそれぞれの項目は、下記のような4種類の視覚的記号を伴い、それぞれ危険の種類と程度を示しています。

▶改良訳文：

安全に関する各項目には、下記のような4種類の見出し記号が表示され、それぞれ危険の種類と程度を示しています。

is accompanied by ~ は、【改良訳文】の「~で表示され」(○) という日本語表現にしていることに注目してください。これは主語および内容から判断した意識の一種です。

【第1小見出し】

④ ⚠ Danger

訳出上のポイントは【原文の背景】をきちんと読んで訳文に反映することです。ここでは「⚠ Danger」全体が1つの見出し記号となります。指示通りに「【危険】」(○) とすれば正解ですが、実際の翻訳ではさまざまなミスが見られます。

例えば、以下のような誤りのバリエーションがあります。

- × ☠【危険】
- × ☠ [危険]
- × 【☠危険】
- × 【危険】 (Danger)
- × 【危険】 (☠ Danger)
- × ☠ Danger 【危険】

上記以外の3種類の見出し記号についても同様で、すべて先頭の絵記号を削除する必要があります。顧客の指示を正確に理解し、ミスなく訳文全体で統一することは実務翻訳者の最も基本的なマナーですので、細心の注意を払って顧客の指示に準拠するように心がけてください。

### 【第1小見出し】—第1文—

#### ⑤ **Danger indicates that a failure to observe the specified instructions may precipitate imminent danger leading to serious or fatal injury.**

訳出上のポイントは訳文の文体の選択です。Danger indicates that a failure to observe the specified instructions may ~ という構文は、☠ Danger 以降の項目でもほぼ同じ形で登場します。そのため、**以降の項目を読んだうえで訳文の文体を統一する必要があります。**

まず、主語の Danger は、見出し記号の ☠ Danger と意味的には繰り返しになりますので**見出し項目を説明する訳文では主語を省略することができます。**

ここで英語に引きずられて同じ言葉を繰り返すとやや冗長な印象の日本語訳となりますので、主語を省略した簡潔な文体を採用してもよいでしょう。

以下の改良訳文を見てください。

#### ▶よくある訳文：

【危険】は、指定された指示に従わないと、ただちに大ケガや死亡に至る危険な状況を招く可能性があることを示します。

#### ▶改良訳文：

この見出しの付いた指示に従わないと、ただちに大ケガや死亡に至る危険な状況を招く可能性があることを示します。

【改良訳文】の「この見出しの付いた指示に従わないと」(◎)という部分は、**内容から**

判断した意識の一種ですが、次のように日本語表現を工夫しています。

まず、the specified instructions の逐語訳は「ここに明記された指示」(○)です。a failure to observe ~ の直訳は、「遵守することへの不履行が～（を招く可能性がある）」(△)ですが、これではぎこちない日本語になります。ここでは「もし～ならば」という不定冠詞の条件的ニュアンス<sup>1</sup>に気付く必要があり、「(ここに明記された指示)に従わないならば」(○)とします。さらに、Danger indicates that ~ も、無冠詞の条件的ニュアンスが使われていて、「【危険】という見出しが付いている場合は (that 以下のこと)を示しています。」という意味の構文になっています。この2つの条件的ニュアンスを1つにまとめたものが、【改良訳文】の「この見出しの付いた指示に従わないと」という意識です。

なお、imminent danger の imminent (切迫した) は、品詞転換して「ただちに」(○)となっている点にも注目してください。

ここではさまざまな表現のバリエーションがあり、正解は1つとは限りません。【改良訳文】は1つのアイデアですが、実際の翻訳でも多用される日本語表現です。

ここでは

- (1) 重複する主語の省略
- (2) 内容から判断して意識する
- (3) 不定冠詞と無冠詞の条件的ニュアンスを意識する

という3つの基本テクニックを組み合わせています。「☠ Danger」以降の「☠ Warning」と「⚠ Caution」という2つの見出し記号の直後の文も同様に処理できます。

なお、serious or fatal injury は、serious injury (重傷、大ケガ) と fatal injury (致命傷、死亡) の2種類の人身傷害ですので【用語】の指示にきちんと従うようにしてください。

### 【第1小見出し】—第2文—

#### ⑥ **Be sure to observe these instructions so that safe operation will be ensured.**

訳出上のポイントは **Be sure to ~** の日本語表現です。ここも以降の項目で繰り返し登場する構文ですのでしっかり日本語表現を検討する必要があります。

一般に、**Be sure to ~** は**実質的な命令文**とされていますので【よくある訳文】のように単に「～してください」(○) のままでもよいのですが、ここでは「必ず～してください」(◎) という**警告のニュアンス**をしっかりと訳出したいところです。

<sup>1</sup> 不定冠詞の条件的ニュアンスなど「条件的ニュアンス」の用法については、「実務翻訳ベーシックコース」に詳細に解説されています。


以下の改良訳文を見てください。

▶よくある訳文：

安全に操作するために、これらの指示を守ってください。

▶改良訳文：

安全に操作するために、これらの指示を必ず守ってください。

上記と同様に、「 Danger」以降の3種類の見出し記号の直後の文も「必ず」を補ったほうがよいでしょう。

#### 【第4小見出し】—第1文—

#### ⑦ **Note indicates important information pertaining to operation, including actions that are prohibited.**

ここも翻訳者の腕の見せ所です。ここでは**品詞転換のテクニック**を利用すれば簡潔に訳すことができます。pertaining to operation は「操作関連」(○)、actions that are prohibited は「禁止事項」(○)のように名詞に品詞転換すればすっきりまとまります。

以下の改良訳文を見てください。

▶よくある訳文：

【注記】は、禁止された行為など、操作に伴う重要情報を示します。

▶改良訳文：

この見出しの下には、禁止事項など、操作関連の重要事項が記載されています。

なお、【改良訳文】では「この見出しの下には」(○)のように「～の下には」という言葉を補っていますが、これは前述の is accompanied by ～「～で表示され」(○)と同様に、**主語および内容から判断した意識の一種**です。

### 訳例

#### 安全上の大切なお知らせ

本製品は、正しい手順で取り扱うことが大切です。システムの取り扱いが不適切であると、感電や火傷などの予期しない事故の原因となり、結果として人身傷害や物的損害につながる恐れがあります。しかし、そのような事故の多くは、ユーザが各種の危険性について理解し、適切な予防策を講じれば避けることができます。

本書には、本製品に関連するさまざまな危険性や、ユーザが知っておくべき注意事項が記載されています。安全に関する各項目には、下記のような4種類の見出し記号が表示され、それぞれ危険の種類と程度を示しています。

#### 【危険】

この見出しの付いた指示に従わないと、ただちに大ケガや死亡に至る危険な状況を招く可能性があることを示します。安全に操作するために、これらの指示を必ず守ってください。

#### 【警告】

この見出しの付いた指示に従わないと、大ケガや死亡に至る可能性があることを示します。これらの警告を必ず守ってください。

#### 【注意】

この見出しの付いた指示に従わないと、軽いケガ、物的損害、装置の損傷につながる可能性があることを示します。これらの注意事項を必ず守ってください。

#### 【注記】

この見出しの下には、禁止事項など、操作関連の重要事項が記載されています。装置の故障や損傷を防ぐために、これらの注記を読んで必ず守ってください。

ワンポイント  
アドバイス

## Wikipediaを使ったIT用語のプチ学習法

以下は基本的なコンピュータ用語の解説文です。英語のままでも十分に意味が分かると思いますが、余裕のある人は日本語訳に挑戦してみるとよいでしょう。

以下の説明文は、見出し語がそのまま主語になるため、主語が省略された形になっています。

(1) software:

- 1) Contrast with hardware.
- 2) Programs, procedures, manuals, etc.

(2) application (software/program):

- 1) A program written for or by a user that applies user's work.
- 2) A program coded for or by an end user that performs user's work.
- 3) Software products such as games, spreadsheets, word-processing programs designed for use on a personal computer.

(3) operating system (OS):

Software that controls the execution of programs. An operating system may provide services such as resource allocation, scheduling, input/output control, and data management. See system software.

(4) resources:

Main storage, input/output device, processing unit, data sets, files, programs, etc.

(5) programs:

A sequence of instructions that a computer can interpret and execute.

(6) data:

A representation of facts, concepts, or instructions in a formalized manner suitable for communication, interpretation, or processing by human or computers.

(7) data file:

A collection of related data records organized in a specific manner.

上記の英文は、外資系の手続きコンピュータメーカーのマニュアルからの抜粋です。これらの基本用語の定義はメーカーによって異なるものの、その中心的な意味 (core meaning) は同じです。ただしその表現の仕方が微妙に異なるわけです。例えば、英語版 Wikipedia で “software” を参照すると次のように定義されています。

Computer software also called a program or simply software is a series of instructions that directs a computer to perform specific tasks or operations. Computer software consists of computer programs, libraries and related non-executable data.

これを見ても分かるように、Wikipedia では “software” を “computer software” と同義とみなし、かつ program と言い換えることができると説明しています。上記の英文では、2) に相当する定義となっていますが、より詳しい説明文となっています。同様に他の用語についても英語版 Wikipedia とそれぞれ比較してみると面白いでしょう。

コンピュータはもともと米国で発展し、コンピュータ用語やプログラミング言語の多くも英語で発生したものですので、基本的な IT 用語の意味を調べる際には英語のほうが意外と分かりやすいことがよくあります。

特に英語版 Wikipedia の英語は平易で、通常の英語力のある日本人なら、ほとんど辞書なしで読めるはずですが、また、Wikipedia は関連用語のリンクが充実しているので、これらのリンクをたどっていけば、芋づる式に IT 用語を調べていくことができます。

例えば、英語版 Wikipedia の “software” の説明文は、以下のような関連リンクが張ってあります。

Computer software also called a program or simply software is a series of instructions that directs a computer to perform specific tasks or operations.

下線を付けたところがリンクになっています。リンクが貼ってある “computer” をクリックすると “Computer” の項目に移動します。

英語版 Wikipedia では、以下のように説明されています。